

令和2年度 神奈川県強度行動障害支援者養成研修 【実践研修】募集案内

令和2年度 第1回・第2回 神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】は、次により実施します。

・第1回 令和3(2021)年 1月26日(火)27日(水) 2日間 定員50名 会場：藤沢市民会館 第2展示場

・第2回 令和3(2021)年 2月 9日(火)10日(水) 2日間 定員50名 会場：藤沢市民会館 第2展示場

この募集案内は、**第1回・第2回開催分の募集案内**です。カリキュラム・申込方法など詳細については、以下、「令和2年度神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】実施要領」をご覧ください。

令和2(2020)年度 神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】 実施要領

1 目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながる可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害を有する者に対して、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的とする強度行動障害支援者養成研修（実践研修）を実施します。

2 実施主体

神奈川県 「社会福祉法人藤沢育成会」に事業委託して実施します。

3 日程・会場・研修カリキュラム等

別紙「令和2(2020)年度 神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】カリキュラム」参照

4 定員

各回50名

5 受講対象者

次の（１）から（４）の要件を全て満たす者

- （１）強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）、又は重度訪問介護従業者養成研修、行動援護支援課程を修了した者（※）
- （２）県内の指定障害福祉サービス事業所等での業務に従事している者（予定のある者も含む。）で、特に「知的障害」もしくは「精神障害」のある方への支援を行っている者
- （３）第１回又は第２回にて受講できる者（受講決定通知の際に、日程を通知します。）
- （４）所属している法人の推薦を受けた者

※本研修までに行われる令和２年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の受講決定を受けた方も申込みができます。修了後速やかに、修了証書の写しを送付してください。受講までに基礎研修を受講できなかった場合には、本研修の受講はできません。

6 受講者の推薦・申込み

（１） 推薦・申込について

- 別紙「令和２年度神奈川県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）受講推薦及び申込書」に必要事項を記載の上、「申込書類確認書」を添えて法人でまとめて申込（送付）ください。
- ５の（１）の修了証書の写しを添付してください。添付されていない場合は、受講できません。
- 毎回申込み多数のため、１法人２名までの申込みとさせていただきます。
- なお、申込書の法人内優先順位は必ず記載ください。法人内優先順位が未記載の場合や不適切な記載の場合（法人内優先順位１位が複数いる等）については、受講を見送りさせていただきます。
- 日程のご希望は承っておりません。第１回、第２回のいずれかの日程に必ず参加できる方を御推薦ください。

（２） 申込様式 別紙様式

- ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ
- （URL：<http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>）」の「書式ライブラリ」→「７．研修会・説明会等のお知らせ（県内共通）」→「３強度行動障害支援者養成研修」に掲載します。

（３） 返信用封筒の同封（受講決定等の通知に使用）

- 定形郵便用封筒（**長形３号：A４版用紙三つ折りが入るサイズ**）を使用してください。
- **140円切手**を貼付してください。
- 法人代表者宛てに宛名を記入してください（宛名は〇〇御中又は〇〇様としてください。）。

（４） 申込方法

- 郵送をお願いします。
- ファクシミリ、電子メール及び電話による申込みは受け付けません。

（５） 申込期限 令和２（2020）年11月20日（金）（当日消印有効）

(6) 申込先

- 〒252-0815
藤沢市石川 4663
社会福祉法人藤沢育成会 湘南セシリア
研修事務局 小野田
- お手数ですが、封筒表面余白に「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）申込書
在中」と記載願います。

7 受講者の決定

- 定員を大幅に上回った場合は、推薦された方の中から、法人内優先順位を勘案し、
申込内容を審査した上で決定します（※先着順ではありません。）。
- 昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止により急遽中止した開催分（令和2年2
月26日、27日）に受講決定していた法人に配慮し選考させていただきますので御承
知おき頂いた上で御応募ください。
- 受講決定については、令和2（2020）年12月下旬に、各法人あてにまとめて通知を
送付します。

8 修了証書の交付、修了者名簿の管理

- 事前課題の提出及び本研修の全日程（2日間）を修了した方に、修了証書を交付し
ます。
- 県は研修修了者名簿（修了証書番号、氏名、生年月日、所属等）を管理します。

9 受講料及び資料代

- (1) 受講料は無料です。ただし、受講に必要な教材費等 3,000 円は、資料代として受
講者負担とします（支払方法等詳細は、受講決定通知とともに御案内します。）。
- (2) テキスト：『行動障害のある人の「暮らし」を支える 第3版 強度行動障害支援者
養成研修[基礎研修・実践研修]テキスト』（中央法規出版）をご持参ください（※）。
【基礎研修】で初版・第2版のテキスト購入済みの方は、内容が一部変更になってい
る旨を御理解の上、御使用いただくことも可能です。
※テキスト購入希望の方は、受講決定後、事務局に御連絡ください（別途、テキス
ト代として3,300 円ご負担ください。）テキストは初日受付時のお渡しとなります。
お釣りのないよう御用意ください。
- 会場までの交通費その他についても、受講者負担とします。

10 新型コロナウイルス感染症対策について

- 本研修は、演習を通じて習得することが多い内容となっており、感染症対策を行っ
たうえで、小規模化による集合研修にて実施します。
- 会場内ではマスクを着用してください。
- 入場時には手指消毒を行ってください。
- 37.5℃以上の（または平熱よりも1度以上高い）発熱がある場合、風邪症状がある
場合、新型コロナウイルス感染と疑われる症状がある場合は受講できません。※教
材費等は後日返金します。
- 会場出入口や窓を常時開放し換気を行います。

11 その他

- 遅刻及び早退は、欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、御注意ください。通勤時間帯による混雑や天候等を考慮の上、余裕を持って御来場ください。
- 著しく受講態度が悪く（私語、居眠り、携帯電話の使用等）、繰り返し注意された方には修了証書を交付できませんので、御注意ください。
- 事前課題につきましては、受講決定通知に同封いたします。必ず研修初日に御提出ください。研修初日に事前課題を提出されない方には修了証書を交付できませんので、御注意ください。
- 受講にあたり、手話通訳、点字教材、身体障害者用駐車場等を必要とする方は、受講申込書の所定欄に記載してください。
- 来場の際は、公共交通機関を利用してください。
- 休講等各種お知らせに関しては、ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ（URL：<http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>）」に掲載いたします。
- 受講決定後、氏名や所属の変更があった場合は、速やかに研修事務局へ御連絡いただきますようお願いいたします。

12 研修に関する問合せ先

（本研修の申込手続等に関する問合せ先）

社会福祉法人藤沢育成会	湘南セシリア
〒252-0815	藤沢市石川4663
電話	0466（82）5755
ファクシミリ	0466（83）3719
研修事務局	小野田

（研修制度に関する問合せ先）

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課		
〒231-8588	横浜市中区日本大通1	
電話	045（285）0738	（直通）
ファクシミリ	045（201）2051	
福祉施設グループ	谷岡・切通	

**令和2（2020）年度 神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】
申込書類確認書**

※本紙も必ず同封してください

法人名	
法人住所 (決定通知等送付先)	〒 —
取りまとめ 担当者名	
担当者電話番号	— () —

* 決定通知等はまとめて上記住所に送付いたします。法人住所と異なる場所への送付を希望する場合は、上記「法人住所」に送付先を記載ください。（受講者ごとに異なる送付先とすることはできません）

【申込書類確認】 ※□に✓を記入してください

- ☐ 申込書に法人代表者印を押しましたか
- ☐ 法人から複数の受講者申込みをする場合、法人内優先順位を全員分記載しましたか
- ☐ 申込書に記入漏れなく、全ての必要項目に記入しましたか
- ☐ 受講者全員分の「申込書」及び「修了証書の写し」が入っていますか
- ☐ 返信用封筒（長形3号、140円切手の添付、住所・法人名の記載）が入っていますか
- ☐ 受講者氏名の記載に誤りはありませんか（例）高→高 崎→崎 など

【受講申込者一覧】 全受講申込者を下の欄に記載ください。

優先 順位	受講者名	事業所名	「施設入所支援」、「共同生活援助」、「障害児入所施設」「生活介護」において、支援計画シート等の作成予定の有無	基礎研修 修了証書番号
1			有 ・ 無	
2			有 ・ 無	

※令和2（2020）年度基礎研修を受講予定の方は、修了証書番号欄に「受講予定」と記載してください。

令和2（2020）年度 神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】
受講推薦及び申込書

次の者を受講者として推薦します。

令和2（2020）年 月 日

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課長 殿

法人等の名称

代表者職・氏名



<受講対象者>

法人内優先順位		←法人で複数人数を推薦する場合、 優先順位を必ず記載 してください。			
フリガナ				生 年 月 日	
受講者氏名				西暦 年 月 日	
所属機関名 ・ 連絡先	法人名 又は市町村名				
	事業所名				
	事業所の サービス種類				
	事業所所在地	〒 -			
	連絡先 電話番号／ ファクシミリ番号	TEL		FAX	
実務経験年数と種別 (障害のある方の支援に 従事した期間) ※通算・重複可		年 ヶ月 [令和3（2021）年1月1日時点]			
		<input type="checkbox"/> 3 障害 <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 児童			
研修等の受講履歴 (該当するものに○を付 けて下さい。) ※修了証書の写しをご提 出ください。		強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)			
		重度訪問介護従業者養成研修 行動援護支援課程			
		行動援護従業者養成研修			
受講に際して配慮 する必要のある事項 (○を付けて下さい)		<input type="checkbox"/>	車椅子の使用の有無	<input type="checkbox"/>	介助犬の同伴の有無
		<input type="checkbox"/>	拡大文字資料	<input type="checkbox"/>	手話通訳者
		<input type="checkbox"/>	身障者用駐車場	<input type="checkbox"/>	その他 ()

*申込は法人で取りまとめの上、申込書類確認書を添えて御送付ください。

*記載漏れや不備があった場合は、受講を見送りとさせていただきますので、御注意ください。

藤沢市民会館 会場案内図

■住所

251-0026

神奈川県藤沢市鵜沼東8-1

TEL 0466-23-2415

■交通機関

J R 東海道本線藤沢駅南口 小田急線藤沢駅 下車徒歩約10分



令和2（2020）年度 神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】カリキュラム

会場：藤沢市民会館

日 程	時 間	講 義 名	内 容
1 日目 第 1 回 1月26日（火） 第 2 回 2月9日（火）	9:40～10:00	受 付 開 始	
	10:00～10:10	開 会	開会あいさつ・ガイダンス ガイダンス
	10:10～11:40 講義1.5H	行動障害のある人の暮らしを支えるために	地域で強度行動障害の人を支える チームによる支援の重要性
	11:40～12:40	昼休み	
	12:40～13:10 講義0.5H	行動障害のある人の暮らしを支えるために	支援の6つの原則
	13:10～14:10 演習1.0H	「適切な支援を組み立てる」 （予防モデル） 行動のアセスメント	障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する
	14:10～14:20	休憩	
	14:20～15:20 演習1.0H	「適切な支援を組み立てる」 （予防モデル） 行動のアセスメント	自閉症の行動特性シートの説明・記入 行動特性のものになる認知特性シートの説明・記入
	15:20～15:30	休憩	
	15:30～17:30 演習2.0H	適切な支援を組み立てる （予防モデル） 支援計画シートの作成	強みや好みを活かす視点 支援計画シートの作成 発表・まとめ
	17:30～17:40	休憩	
	17:40～18:10 講義0.5H	「行動障害のある人の生活と支援」	外出場面における支援
	18:10～18:20	事 務 連 絡	
2 日目 第 1 回 1月27日（水） 第 2 回 2月10日（水）	9:00～9:20	受 付 開 始	
	9:20～9:50 講義0.5H	「家族の思い」	行動障害のある人の家族の思い
	9:50～10:00	休憩	
	10:00～10:30 講義0.5H	「行動障害のある人の生活と支援」	日中活動場面における支援
	10:30～10:40	休憩	
	10:40～11:40 演習1.0H	「行動上の課題に対応する」 （行動障害対応モデル） 記録とアセスメント	行動記録の説明と活用 氷山モデルの作成 行動の前後関係から考える 構造化の考え方と方法
	11:40～12:40	昼休み	
	12:40～14:40 演習2.0H	「行動上の課題に対応する」 （行動障害対応モデル） 支援手順書の作成	ストラテジーシートの作成 支援手順書の作成 行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正
	14:40～14:50	休憩	
	14:50～16:20 演習1.5H	「危機対応と虐待防止」	危機対応の方法 虐待防止と身体拘束
	16:20～16:30	チェックシート記入・回収	
	16:30～17:00 講義0.5H	「行動障害のある人の生活と支援」	夕方から朝にかけての支援
	17:00～17:20	チェックシート解説	
	17:20～17:45	グループごとの振り返り	研修全般の振り返り 氷山モデル修正、等
	17:45～18:00	修了証書授与 閉会	

※カリキュラムは、講師等の都合により変更することがあります。

参考資料

「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）」及び 「行動援護従業者養成研修」、「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」 に係る Q & A

（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）と（実践研修））

問 1 「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」と「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」とは、どのような関係にあるのか。

（答）

- ア 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）は、強度行動障害を有する方への適切な支援を行う職員の人材育成を目的としています。標準カリキュラムとして、講義（6 時間）及び演習（6 時間）で構成されています（計 12 時間）。
- イ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）は、強度行動障害を有する方への適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的としています。標準カリキュラムとして、講義（4 時間）及び演習（8 時間）で構成されています（計 12 時間）。
- ウ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の受講対象者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の修了者及び重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者となります。

（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）と重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程）

問 2 「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」と「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」とは、どのような関係にあるのか。

（答）

- ア 両研修は、同じカリキュラムであるため、重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を修了している取扱いとなります。また、逆も同様です。
- イ したがって、重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程の修了者は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を受講する必要はありません。

（行動援護従業者養成研修と強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）及び（実践研修））

問 3 「行動援護従業者養成研修」を修了しているが、「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」及び「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」を受講修了する必要があるか。

（答）

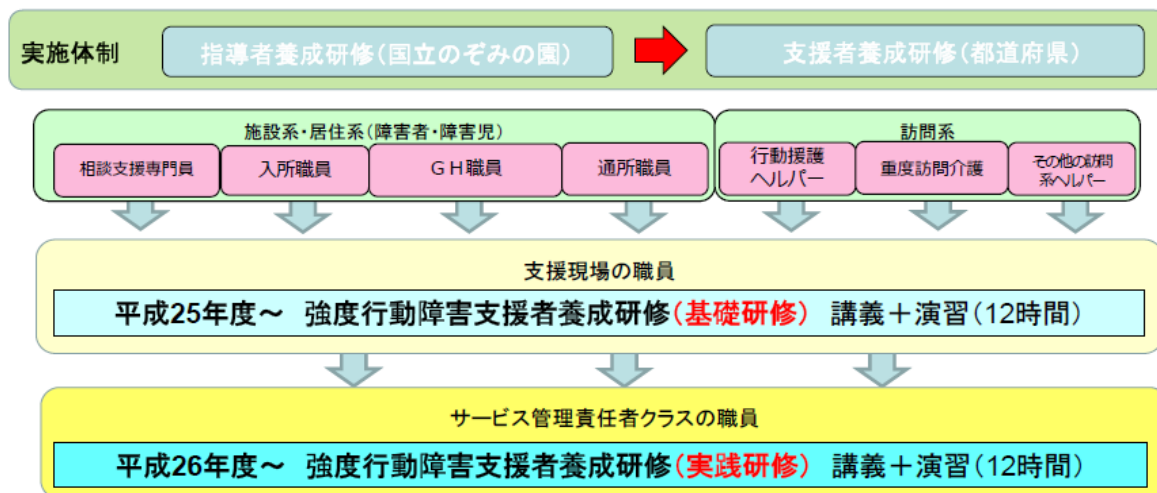
- ア 必須ではありません。「行動援護従業者養成研修」は、「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」及び「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」と同じカリキュラムとなっているためです。
- イ ただし、平成 26 年度以前に「行動援護従業者養成研修」を修了した者については、カリキュラムが見直されたことに伴い、改めて研修を受講する必要はありませんが、行動障害を有する者が重度訪問介護を利用するに当たっては、事前に行動援護従業者等によるアセスメントや環境調整を経る必要があることとされたことから、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修及び実践研修）を受講することが望ましいとされています。

（平成 27 年 3 月 6 日厚生労働省障害保健福祉関係主管課長会議資料）

（参考）強度行動障害を有する者等に対する支援者の人材育成について

強度行動障害を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどを特徴としており、このため、現状では事業所の受入が困難であったり、受入れ後の不適切な支援により、利用者に対する虐待につながる可能性も懸念されている。

一方で、施設等において適切な支援を行うことにより、他害行為などの危険を伴う行動の回数が減少するなどの支援の有効性も報告されており、強度行動障害に関する体系的な研修が必要とされている



(厚生労働省資料)